

最近「夏は受験の天王山」「夏を制する者は受験を征す」という見出しの新聞チラシを見かけなくなり、受験戦争、詰め込み教育という言葉もほとんど聞かなくなりました。

「夏休みの宿題ですか？」と理由を尋ねると、「毎日ゴロゴロしているのに疲れて寝ていきます。明日から学校なので行きたくないと言われても……。今日は大事を取って休ませます」と。大事の意味に首をかしげながら「分かりました」と応えた。

私見創見 Thursday

子育ても、子どもたち自身も、選択肢が限られていた親の世代に比べ、大変多様化し、かなり個性的になったと思う。その半面、着ている服、食べたい物、見たいテレビ番組、友達とのそれらの違いや周りへの関心が乏しくなっていると違和感を覚える。

塾を始めて30年、塾の業界も集団授業より習熟度別授業、一斉指導より個別指導へと随分様変わりした。

今年の夏期講習会は、勉強の仕方をしつかり教え、お盆の1週間を休みにした。授業再開の日、休みに塾のワークを毎日30分ずつこなした者から、全くやっていない者まで、こちらも一様ではなく、多様化した。

比べて違いを見つけよう

中学3年男子にテキストをめくりながら「全部やったのか？」と聞くと、「やりました」と答えた。「やるべきことを全部か？」と聞くと、「それは……やっていません」と。「入塾してから何度も同じ質問をしてきたね。そろそろ全部の意味を理解しようよ」と諭すと、ばつが悪そうに「はめくりながら全部やったの」と言っていた。

そして間髪入れず「今日から毎日やります」と宣言し胸を張った。唐突で驚いたが「実績のない宣言は信じられない。睡眠に打ち勝つための対策はあるのか？」と水を向けてみた。すると「はい、睡眠

に負けないようベッドに水をかけています」と信じられない話をした。

一学期の終わりに、北海道から高校1年男子と母親が来た。手首には深い傷跡があった。自傷行為を動画でネットにアップしたことで退学が避けられない。小学校からの部活や子育ての背景を細かく聞き取った。大学進学も志も高く、親思いだが、友達がいない。学習相談は4時間を超えた。

しつけは親の鏡



畑山 篤

志学塾塾長

はたやま・あつし 1960年、八戸市生まれ。明治学院大卒。志学塾を運営しながら、全国各地で講演。「勉強部活」を提唱、放課後学習支援などに関与する。全国学習塾協会理事。

私は「両親から人生でこれだけは守りなさいと言われてきたことは？」と尋ねた。「人に迷惑をかける。弱者をいじめない。嘘をつかない」としつかり言えた。母親の目に涙が浮かんでいた。

私は本人にしつけは嫌だ。朝起きて、夜寝るまで、毎日決まってることがある。幼児から小・中・高、そして20代と毎日、できることが増えていく時期がある。

一方、人は40代、50代……とできないことが増えていく。お母さんは何歳かな？君はもう高校生だ。先輩、後輩、友達とできることとできないこと、を比べてみよう。自分で課題を見つけ興味を持ち行動を起こすことが学ぶということ。学び取るものは人それぞれ違う。だから人生は面白い」と話した。

明治天皇の



皇城図を発見

1869(明治2)年に明治天皇の住まい「皇城」(旧江戸城西丸)でオーストリア・ハンガリー帝国使節団が天皇と謁見した際、詳細な見取り図を作成していたことが21日分かった。見取り図は手記と共にオーストリアで保存されていた。皇城は73年に火災に遭い、皇城に関する文書なども焼失。元宮内庁書陵部編修課長の岩壁義光氏は「当時の記録として、謁見の場所を具体的に描いた視覚的な史料は見たことがなく、一級の史料だ」としている。

見取り図と手記はリンツ市 は謁見4日後のピアノ御前演

東電10億円賠償で和解

福島県と原発事故時の人件費

関から謁見に使われた大広間(手記によると500平方メートル約46平方メートル)を描写。天皇が謁見時に用いた御帳台や雅楽奏者、グランドピアノなど贈り物の位置のほか、使節団が茶菓の接待を受けた殿上の間も描かれていた。

東京電力福島第1原発事故に伴い、福島県が東電に損害賠償を求めた裁判外紛争解決手続き(ADR)で、東電が約10億円を支払う方向で和解する見通しとなったことが21日、分かった。

県財務課によると、東電も和解の姿勢を示しており、成立すれば、県と東電のADRの和解は2017年に続き2回目となる。

24、25日

奥入瀬渓流沿いの車通行自粛を

青森県など呼び掛け

青森河川国道事務所と青森県、十和田市は24、25の両日、奥入瀬渓流沿いの国道102号で、車両通行の自粛を呼び掛ける「奥入瀬せせらぎ体感プロジェクト」を実施する。

来訪者に渓流の自然の音や静かな環境で散策を楽しむでもらうのが狙い。2017年度から始まり3回目。実施時間は午前10時午後2時で、対象区間は……

交通規制ではなく、自主的に車両通行を控えて広域巡回を求める。徒歩や自転車、シャトルバスでの移動を推奨している。

焼山一休屋間を結ぶシャトルバスは20分間隔で運行する。1日乗り放題のフリーパス券は大人千円、小学生以下無料。

焼山駐車場や奥入瀬渓流館駐車場で受け付けを済ませれば、無料ガイドや周辺店舗での商品割引などの特典を受けられる。4カ所を回ると景品ももらえる。スタンプラリーも実施する。